

2026.4.22

アース製薬、「熱ケア」サイトオープン 熱中症対策に向け、最新の研究成果を公開 ～2日に1回の入浴で熱中症対策～

アース製薬株式会社（本社：東京都千代田区、社長：川端克宜、以下「アース製薬」）は、忙しい現代人の「お風呂の質（Quality of Furo）」を向上させるためのプロジェクト「QOF 向上プロジェクト」第二弾として、「入浴と熱中症」に関する研究成果をより多くの生活者にお伝えし、社会全体の熱中症リスク軽減に貢献することを目的に、新たに「熱ケア」サイトをオープンしました。



「熱ケア」サイト画面イメージ

近年、日本では気温の上昇により「夏日」「真夏日」「猛暑日」の日数が増加しています。それに伴い熱中症患者数も増加しており、深刻な社会問題となっています。また、熱中症に注意しなければならない時期が拡大しており、特に、体が暑さに慣れていない春先からの「季節外れの熱中症」への警戒も重要となっています。

当サイトでは、熱中症のしくみや熱中症対策における「入浴習慣」の有用性に着目した研究成果等を公開し、人々の熱中症リスク低減に貢献いたします。また、今後も様々な最新研究成果を順次公開していきます。

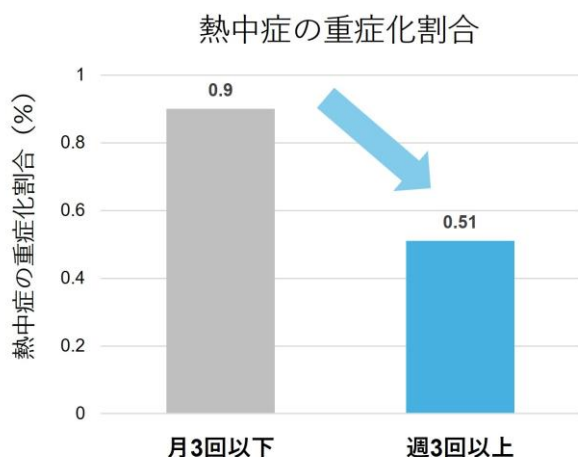
【「熱ケア」サイトについて】

■ サイト URL : <https://www.earth.jp/qof/netsucare>

■ サイト内のご紹介

継続的な入浴は熱中症の重症化を防ぐ可能性

6月以降の入浴頻度と熱中症の重症度の関連について、入浴の実施頻度が月3回以下の方は、週3回以上の方と比較して、熱中症の重症化と有意に関連することがわかりました。このことから、継続的な入浴習慣は、熱中症の重症化リスクを下げる可能性があることが明らかになりました。



【調査概要】本結果は以下の調査結果に基づき、入浴頻度毎の重症化割合を算出してグラフ化したものです。
調査方法：インターネット調査（2022年夏バスライフ実態調査 15-69歳の男女2331人）、
解析手法：ロジスティック回帰分析
目的変数：熱中症の重症化有無（救急搬送や病院に行くレベルを重症化あり、それ以外を重症化なしとした。）
説明変数：入浴頻度（月3回以下、週1~2回、週3回以上）、年齢（15~69歳）、性別（男性、女性）、地域
結果：週3回以上の入浴実施者は、月3回以下の入浴実施者と比較して、熱中症の重症化のオッズ比が有意に低く（OR:0.47,95%CI:0.23-0.97）、熱中症の重症化リスクが低下する可能性が考えられた

【QOF 向上プロジェクト】

忙しさの中で、湯船に浸かるゆとりさえ失われつつある現代において、働く人ががんばるほど、自分自身のケアが後回しになってしまう現実に、アース製薬は向き合いました。

「もう一度、お風呂の癒やしを取り戻してほしい。」そんな強い思いから始動したのが、「QOF（Quality of Furo）向上プロジェクト」です。

毎日の入浴の質（QOF）を高めることは、すなわち人生の質（QOL）を底上げしていくことに他なりません。お風呂を「ただの習慣」から「自分を慈しみ、人生を豊かにする時間」へと、日本の入浴文化を再定義するアース製薬の新たな挑戦に、ぜひご注目ください。

【アース製薬について】

アース製薬は、「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」という経営理念のもと、大阪難波での創業以来、人々の健康と快適な生活の実現に真摯に向き合ってきました。虫ケア用品の『ごきぶりホイホイ』『アースレッド』『アースノーマット』をはじめ、入浴剤の『温泡』『きき湯』、オーラルケアの『モンダミン』など、時代の変化とともに様々な製品を、国内を問わず海外でも、アジアを中心とした世界約50の国や地域にお届けし続けています。

【お問い合わせ窓口】

アース製薬 QOF プロジェクト広報事務局（株式会社オズマピーアール内）

mail : earth-pr@ozma.co.jp

担当：鳥居